

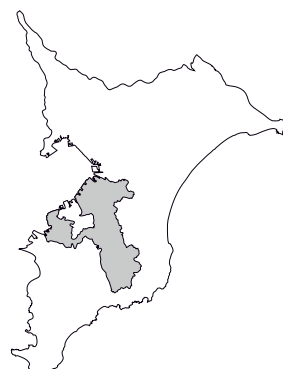


2027年3月6日～5月30日
千葉県市原市、木更津市、大多喜町を舞台に
「房総国際芸術祭 アート × ミックス 2027」開催

千葉県市原市では、地域課題の解決や交流人口拡大を目的に、2014年から芸術祭「いちほらアート × ミックス」を開催し、地域の魅力の再発見と活用に取り組んできました。これを継承し、2024年は内房総5市（市原市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、富津市）にて官民協働で「千葉県誕生 150周年記念事業 百年後芸術祭～環境と欲望～内房総アートフェス」を展開。2027年はそれをさらに発展させ、千葉県、市原市、木更津市、大多喜町が連携し「房総国際芸術祭 アート × ミックス 2027」を開催します。

名称 : 房総国際芸術祭 アート × ミックス 2027
会期 : 2027年3月6日（土）～5月30日（日）GWを除く火・水曜日定休／64日間
会場 : 市原市、木更津市、大多喜町の各地
主催 : 房総国際芸術祭実行委員会（千葉県・市原市・木更津市・大多喜町）

総合プロデューサー : 小林武史（音楽家）
総合ディレクター : 北川フラム（アートディレクター）
アートディレクター : 豊福亮（アーティスト）
デザインディレクター : 長嶋りかこ（グラフィックデザイナー）



コンセプト

五感全開、旅する房総 びじゅつこうば —みんなの美術工場—

房総半島まるごとの千葉県は、鎌倉殿が勢力を拡大し、のちに各地で城下町が形成された関東の歴史的拠点であり、古くは国分寺から遡る古墳文化の華やかな地であり、2500 万年前にはユーラシア大陸から離れていく日本列島の牽引の大地でした。近代以降、この豊かさを育む里山や歴史的な風景とともに、日本有数の工業地帯、および首都圏の大切な住宅地として発展し、今や日本列島の縮図ともいえる特徴ある地域として存在感をもってきました。

本芸術祭では、2市1町の各地にアートと音楽・ライブパフォーマンスを展開し、来場者は、半島を縦断する鉄道、車、自転車や徒歩などで地域を旅します。太平洋を臨むフロンティアの地に、世界各地から作家が集い、世界へと開かれた国際的な芸術祭の拠点として歩み始めます。ここでは「みんなの美術工場」の構想のもと、ものづくりに注目し、作家の滞在制作やシンポジウム、ワークショップを開催します。さらに、木更津のクルックフィールズを立ち上げた小林武史が、この地域の特徴を活かした音楽・ライブパフォーマンスを手掛けます。また各エリアの食施設と連携して地産地消メニューや新しい食体験を考案し、地域との交流も創出します。

多様な文化を育んできた房総の地で、美術・文化を題材とした地域づくりを始めるべく、千葉県・市原市・木更津市・大多喜町が本芸術祭を開催します。地域の産業・文化・美術・音楽を、海外から学びつつも、地域の力のなかで育てていこうとするものです。

ロゴ



青と赤という二極の色味が滲む景色は、「内」と「外」、「人工」と「自然」、「効率」と「非効率」といった対極する要素がミックスし、社会に“あわい”を描くことを隠喩しています。

太平洋を望む房総半島が、交流の玄関口として開口部の一助となる国際的な芸術祭を目指していることから、房総半島の陸地から見た太平洋の海と空の境界が滲む風景を思わせる、整然としたグラデーションをメインビジュアルに据えました。一方、おぼつかない手つきで色を混ぜるかのように描かれた円は、造作、対話、交流といった人為によって生まれる“あわい”を表しています。

ロゴには、日本語に丸ゴシック系統の書体、英語に角ゴシック系統のコーディング書体を使用しています。日本語は道路標識など日本の物理的な公共空間で多用されてきた丸ゴシック系統の書体であり、英語はコーディングフォントとしてシステム構築において用いられる、仮想公共空間の裏方的角ゴシック書体です。丸と角、表と裏、物理と仮想、という二つの対極的な書体を日英併記で組み合わせひとつのロゴとすることで、コントラストと“あわい”を宿しています。



作家 (2026年1月29日時点)

●新作・新展開作品 (海外 10 組、国内 11 組)

内房総アートフェス (2024) 会期後に制作された作品を含む

海外 (出身国/活動国)	国内
イ・ビョンチャン (韓国)	小谷元彦
カールステン・ニコライ (ドイツ)	加藤みいさ
カロリーナ・カイセド (コロンビア)	小瀬村真美
コンゴ・アストロノーツ (コンゴ)	田中誠人
シモン・ベガ (エルサルバドル)	千田泰広
ジョンペット・クスウィダナント (インドネシア)	原田郁
シルバ・グプタ (インド)	BankART1929
ニール・メンドーザ (イギリス/アメリカ)	満尾洋之
ベアトリス・コルテス (エルサルバドル/アメリカ)	八木秀人
ワン・チュンクン (台湾)	山田泉美
	横谷奈歩

●常設作品/クルックフィールズ所蔵作品 (海外 6 組、国内 27 組)

海外 (出身国/活動国)	国内		
オラファー・エリアソン (アイスランド/デンマーク)	浅井裕介	CLIP	田中奈穂子
カミーユ・アンロ (フランス)	秋廣誠	栗山齊	チョウハシトル
カルロス・ガライコア (キューバ)	EAT & ART TARO	栗田宏武	富安由真
ジョアン・カポーテ (キューバ)	岩間賢	クワクポリョウタ	豊福亮
ソカリ・ドグラス・カンブ (ナイジェリア/イギリス)	小沢敦志	KOSUGE1-16	中根唯
ヘラルド・バルガス (メキシコ)	岡田杏里	塩月洋生	藤本壮介
	角文平	鈴木ヒラク	増田セバスチャン
	木村崇人	鈴木敦夫	森靖
	草間彌生	竹村京	柳建太郎

※頭文字の五十音順

※調整中のため、追加があった際は段階的に発表予定

公募

2026年3月1日（日）～3月31日（火）の期間で作品の公募を行います。応募形式は、自由提案、具体的な候補地の選択提案、滞在制作型の3種類です。房総地域独自の歴史や自然などの豊かな資源の魅力を生かし、国際的な発信力をもつアート、パフォーマンス作品およびプロジェクトのご提案をお待ちしております。

【提案方式】

- A) 自由提案（場所、内容を自由に提案）
- B) 候補地選択提案（旧平三小学校／富来田公民館／魚惣（旧料亭））
- C) 滞在制作（AIR）

旧平三小学校



富来田公民館



魚惣（旧料亭）



【スケジュール】

- 1月30日（金） 公募情報公開、現地見学ツアー予約開始（2/16×切）
- 2月21日（土） 現地見学ツアー実施
- 3月1日（日）～31日（火） 公募受付
- 6～7月頃 選考通知、結果発表

詳細は公式HP（右記QRコード）よりご確認ください。



サポーター募集

芸術祭を一緒につくり上げるサポーターを募集します。サポーターは、作品制作補助や会場整備、来場者へのおもてなし等を担い、作家と地域、作品と来場者をつなぐ芸術祭の中心的な存在です。年齢、経験を問わず幅広い方の参加をお待ちしています。

【活動内容】

アート作品設置会場の整備、作品制作補助、会場の受付・案内、イベント運営サポート等

【サポーターキックオフミーティング】

開催地域の方々や、これまで参加してきたサポーターに加え、学生・社会人・外国人、地域コミュニティや関係企業等といった多様な立場の方々が、芸術祭に向けて初めて集まる場として「サポーターキックオフミーティング」を開催します。出身や年齢を問わず、芸術祭の紹介や経験者の話、ワークショップを通して、各々の芸術祭への関わり方や活動をイメージいただけます。

日時：2026年3月8日（日） 14時～17時（受付13時30分～）

場所：ペリエホール（千葉駅直結）

定員：80人程度

内容：芸術祭紹介、北川フラム総合ディレクター講話、経験者の体験談、ワークショップ など

2026年3月プレイイベント開催

2026年3月20日、21日、22日、28日、29日の5日間限定開催 「房総国際芸術祭アート×ミックス2027」プレイイベント

本祭に向けたプレイイベントとして、今年は5日間限定のプログラムを開催します。これまで生まれた常設作品群に加え、ひと足早く新作を公開。市原市で2014年から続く人気イベント「おにぎりのための運動会」も、各エリアにて開催します。詳細は公式HPにてご確認ください。



①作品鑑賞

会期 : 2026年3月20日(金祝)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)

会場 : 市原市(上総牛久駅周辺、旧里見小学校、旧平三小学校、月出工舎、小湊鉄道の各駅)
木更津市(クルックフィールズ)

共通チケット: 一般1,000円(5日間は何度でも鑑賞可)、高校生以下無料

※クルックフィールズは別途保全料(中学生以上300円/小学生100円)必要

②EAT&ART TARO「おにぎりのための運動会」

食のアーティスト・EAT&ART TAROが考案した、おにぎりをひときわおいしく食べるための運動会。参加者はラジオ体操、玉入れ、綱引き、おにぎりころがし、パン食い競争などを行います。白熱した後には、地域の特色を生かしたおにぎりが登場。

開催日・会場 : 3月20日(金祝) 10:00-13:00頃 富来田中学校(木更津市真里谷275)

3月28日(土) 10:00-13:00頃 B&G野球場(大多喜町大多喜486-12)

3月29日(日) 10:00-13:00頃 旧平三小学校(市原市平蔵808)

予約申込 : 要事前予約(公式HPにて3月1日から/先着順)

料金 : 一般1,000円、小中学生500円、未就学児無料(食提供なし)

※オンライン決済、または当日現金支払い

③大多喜ッズ(連携イベント)

大多喜城にて開催される「大多喜ッズ」にて、アート体験ができる芸術祭のワークショップブースを出展。

開催日・会場 : 3月28日(土) 10:00~15:00 大多喜城(大多喜町大多喜481)

Information

作品鑑賞パスポート

区分	前売 ~ 2027.3.5	会期中 2027.3.6 ~ 5.30
大人(19歳以上)	3,000円	3,500円
中人(16~18歳)	1,000円	1,500円
小人(15歳以下)	無料	無料

※個別鑑賞券は別途設定

※障がい者手帳をお持ちの方は無料(介添が必要な場合は同行者1名無料)

【販売開始時期】2026年夏頃(予定)

※販売に先行して、各市町のふるさと納税返礼品としても登録。ただし、返礼品の発送は2027年1月以降予定

【大口購入方法】詳細は下記実行委員会事務局へお問い合わせください

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

房総国際芸術祭 実行委員会事務局 0438-38-6563 info@boso-artmix.com

株式会社アートフロントギャラリー 03-3476-4868 (担当山口) press@artfront.co.jp

公式HP

